

## 1. 「地域包括ケアシステム」構築に関する全日本病院協会としてのスタンス

「地域医療構想」と並ぶ国の大きな取り組みである「地域包括ケアシステム」は、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」に関して包括的サービス構築を各自治体に求めるものですが、中心的な役割を果たすのは医療介護系事業所であり「医療介護複合体」として運営していることが多く、全日本病協会の関わりが大変重要です。

最近の診療報酬・介護報酬にみられるように、評価の中心は、連携強化と質の高い医療介護の提供となってきたことから、当協会として積極的に会員支援を行います。

## 2. 「地域包括ケアシステム」構築に際して会員が行うべき事項

○現在の地域特性の把握と将来見通し＝医療介護需要（高齢者を中心とした自立支援対象者）の見通しと提供体制の過不足の確認

⇒石川ベンジャミン氏開示資料（資料公開サイト <https://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>）等、要医療・要ケア住民に関するデータの取得と需要推移の確認、既存関連事業体の見える化と自施設の立ち位置の確認から競合すべきか協調すべきかの検討

○地域住民を巻き込んだシステム構築への積極的参入

⇒行政への積極的にかかわりと住民への啓発・住民との協調

地域包括ケアシステム構築の持つ意味の周知徹底への関与：講演会の実施 地域におけるボランティア活動の把握 モデル事業実施と拡大への関与

○行政・医師会等との実質的な協議と必要な行動の決定ならびに実践

## 3. 医療介護提供者の目線で「地域包括ケアシステム」の進捗を評価する共通フォーマットの提示

○全日本病院協会では、会員病院の皆様が自地域の「地域包括ケアシステム」の進捗状況を評価するための共通フォーマットを作成いたしました。自地域における現状把握や自院の立ち位置の把握、他地域・他病院との比較を主な目的としています。下記の資料をご参照ください。

① 医療介護提供者の目線で「ケアシステム」の進捗を評価する共通フォーマット（Excel）

② 共通フォーマット記載事例（4病院） ※記入の際のご参考や比較にご利用ください。

## 4. 地域特性に対応するための好事例

○模範的な取り組みを行っている会員病院の共通点としては、以下の構図が考えられます。

⇒医療介護（福祉）複合体運営

＝上流（急性期医療）から下流（在宅医療／介護）まで地域需要の取り込み

＝垂直連携（＋水平連携）

○「地域包括ケアシステム」構築に積極的に関わっている会員病院の事例について情報提供いたします。自院での取組を行う際のご参考にご参照ください。

① 医療法人社団永生会 永生病院（東京都八王子市）

② 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院（群馬県伊勢崎市）

③ 社会医療法人恵和会 西岡病院（北海道札幌市豊平区）

## 5. 保険外サービスの種類と活用事例集

厚生労働省 平成25年「地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例」

平成26年『事例を通じて、我がまちの地域包括ケアを考えよう「地域包括ケアシステム」事例集成～できること探しの素材集～』

平成27年「地域包括ケアシステムを効果的に構築していくための市町村の地域マネジメント等に係る調査研究事業報告書」

厚生労働省・農林水産省・経済産業省

平成28年「地域包括ケアシステム構築に向けた公的保険外サービスの参考事例集」

経済産業省・厚生労働省

平成29年「地域包括ケアシステムの構築に向けた公的介護保険外サービスの普及促進に関する調査研究事業」

## 6. 地域医療介護総合確保基金取得の方法例

○「地域包括ケアシステム」構築にあたっては、水平連携における ICT 利用、異業種連携に関する取り組み、アクティブシニアの発掘とシステム構築への参加推進 等、地域医療介護総合確保基金を活用して活動している事例も散見されます。各都道府県での基金の活用状況について、以下より確認することが可能です。

⇒全国都道府県別地域医療介護総合確保基金利用の取り組み例

(厚労省<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000199985.html>)